

## 第 28 回米子市水道事業審議会 会議録

- 開催日時 令和 2 年 2 月 1 4 日(金)  
午後 1 時 2 7 分～午後 2 時 4 0 分
- 開催場所 米子市水道局大会議室
- 出席者
- 委員(敬称略)**：稲田 祐二、田中 俊行、井藤 津加代、伊藤 徹、  
香川 司郎、長栄 素子、中山 寿子、新田 ひとみ、祝部 大輔、  
八尾 俊一、大和 紀恵、吉居 努、和田 季子
- 米子市水道局**：細川水道事業管理者、松田副局長兼計画課長、  
金田次長兼総務課長、安村次長兼給水課長、伊原営業課長、  
舩川水質管理課長、石田施設課長、松田境港営業所長、本池主査  
兼浄水課水源管理担当課長補佐、住田主査兼施設課改良担当課長  
補佐、湯崎総務課長補佐兼財務担当課長補佐、羽柴総務課係長  
(事務局) 岩坂計画課長補佐兼企画広報担当課長補佐、  
白須計画課係長、井塚計画課係長
- 日程
- 1 議題
- (1) 令和 2 年度米子市水道事業会計予算(案)について  
(2) 水道料金等の「モバイル決済」導入について(報告)  
(3) その他
- 2 事務連絡
- 公開又は非公開の別  
公開
- 傍聴者数(報道関係者を除く)  
なし
- 会議資料の有無  
有り
- お問い合わせ先  
米子市水道局計画課企画広報担当(電話 0859-32-6112)

## 1 議題（議題の概要及び質疑）

### (1) 令和2年度米子市水道事業会計予算（案）について

＜案件説明：湯崎総務課長補佐兼財務担当課長補佐＞

#### 当初予算の概要について

資料 P1 編成方針、料金収入、建設投資について概要を説明。

公営企業会計は、水道料金収入や事業運営に係る経費など単年度の経常的経費を管理する収益的収支と、配水管や水源施設の更新など、中長期的な資産の取得を管理する資本的収支の二本立てで管理している。資料 P2 で予算規模についてお示ししているが、詳細は後程説明する。

#### 主な建設改良事業の概要について

資料 P3～P4 に、令和2年度に予定している主な建設改良工事について掲載した。まず、水道管に関する事業として、1. 配水管改良工事 65 件、延長約 11km、予算額 7 億 2,543 万 2 千円。2. 老朽管更新事業 13 件、延長約 1.5km、1 億 371 万 8 千円。境港方面への基幹配水管となる口径 500mm の 3. 基幹管路更新事業は今年度の夜見町鉄工センター付近に引き続き富益町地内延長約 630m の施工を予定しており 2 億 1,250 万円。同じく境港方面への主要ルート上にある 4. 国道 431 号水管橋更新事業は、大篠津町地内御崎橋の更新に 2 億 460 万円。令和2年度新規工事となる 5. 防衛補助事業は、美保基地周辺の境港市内配水管改良工事として延長 850m、1 億 2,771 万 3 千円を計上している。次に、水源地を整備する事業として、6. 戸上水源地整備事業は令和元年度からの継続工事となる電気設備更新工事に 2,331 万 1 千円、7. 車尾水源地調整池更新事業は、この庁舎のすぐそばにある老朽化した青い円形タンクを令和4年度までの工期で更新する計画だが、令和2年度は設計費など 4 億 6,474 万 5 千円、8. 各水源地整備事業は、令和元年度から実施中の日下水源地電気機械設備更新工事ほか 2 億 849 万 8 千円を計上している。

#### 予算規模について

資料 P5 予算総括表に基づき説明する。収益的収支のうち、収入総額は 36 億 1,991 万 1 千円としているが、水道料金収入である給水収益を前年度比 1% 減と見込んだため、受託工事収益の増加などを見込んでいるものの、対前年度比で 0.6%（2,234 万円）減とした。一方で、資料 P6 支出総額は 33 億 1,527 万 9 千円としており、これは資産減耗費として廃止予定の車尾水源地調整池の撤去工事費や固定資産除却費が前年度比で 7,206 万円の増と見込むなど、対前年度比で 101.5%（4,921

万5千円)の増とした。この結果、純利益は消費税込みで3億463万2千円(税抜きで1億3,076万4千円)となる見込み。

資料P7資本的収支のうち、収入総額は13億4,063万9千円で、企業債借入額を前年度比181.9%増の8億8,680万円と増やしたことや、工事負担金や国庫補助金などの増加により、対前年度比で152.9%(4億6,409万円)の増とした。これによって、支出総額は30億5,291万2千円で、建設改良費の増加により、対前年度比で126.4%(6億3,749万1千円)の増とした。

この結果、一番下段の投資的経費の収支の不足額が、対前年度比111.3%、1億7,340万1千円増となる17億1,227万3千円となるが、資料P8の5資本的収入不足額の補てんの内容にお示しするように、減価償却費などからなる当年度分損益勘定留保資金から9億5,671万円、繰越利益剰余金から5億8,165万5千円等を補てんしているが、資料P9のグラフに示したのでご確認いただきたい。

なお、資料P10、P11に、これまでの水道料金収入や経常的な経費、起債残高と借入額の推移をグラフにしたので、ご参照いただきたい。

#### 質疑応答

【八尾委員】収入が5千万円程下がる見込みとのことだったが、それでは対前年度比の1%を上回ってしまうのではないか。

【湯崎補佐】その数字は資料に載せていない令和元年度補正予算のもの。平成30年度と比較して令和元年度の給水収益が5,500万程度減となる見込みで、当初予算と関連するためご紹介した。

【新田委員】資料P8翌年度利益剰余金が前年度比104.3%増加とあるが、収入が減っているなかで増加するのはなぜか。

【湯崎補佐】建設改良事業に充てるための企業債借り入れを、令和元年度4億8,740万円に対し、令和2年度は8億8,680万円と倍近い金額を予定したため、企業債による資金調達の割合が増加したことが主な原因。令和3年度以降は抑制していく予定としているため、一時的な増加である。

【吉居委員】資本的収入に厚生労働省と防衛省からの補助金とあるが、国からの補助金は返済する必要があるか。

【湯崎補佐】補助金として交付されるものであり、返済の必要はない。

【伊藤委員】近年は激甚災害が多発しており、昨年も全国各地で浸水被害による水道施設の被害が相次いだ。予算案でも水源施設の更新が計上されているが、浸水被害対策等、災害リスクに備えた内容となっているのか、予算の考え方について伺いたい。

- 【細川管理者】本市のメインである戸上水源地は、日野川と法勝寺川の中洲に位置しているため、ご指摘のとおり浸水被害のリスクが否定できない。井戸改修に際し、多少のかさ上げ等は予定しているが、抜本的な浸水対策とはなっていないので、現在、法勝寺川堤防のかさ上げ等の対策を国土交通省日野川河川事務所にも要望している。浸水対策も重要だが、万一、被害が出た場合は補正予算で対応することになる。
- 【伊藤委員】全国的にみると電力のブラックアウトで配水ポンプが使えないといった事例もあった。配水池への送水が途絶えるなど最悪を想定した災害リスクを踏まえた予算措置を検討されるよう要望する。
- 【稲田会長】防災、減災の視点は大切。ライフラインとしての水道を維持するためのレジリエンス※を確保し、なるべく早急に元に戻すことができる体制の構築に努められたい。
- 【細川管理者】最近も和歌山市の漏水事故対応の不手際が報道されたが全国の水道事業体で職員の技術継承が失われつつあるという大きな課題がある。一昨年の豪雨被害でも山陽側への給水、復旧支援に取り組んだが、若手職員も経験を積むことで水道に精通した人材が育つよう努めてまいりたい。
- 【中山委員】資料 P2、消費税込みと税抜きの表現が混在してわかりにくいように感じる。資料 P8 まで読むと仕組みが理解できるのだが、わかりやすい表現となるよう配慮いただきたい。
- 【湯崎補佐】企業会計の制度からこのような表現となっている。表現を工夫して、わかりやすくできないか検討する。
- 【稲田会長】起債残高について考え方を伺いたい。配水池や庁舎など大型事業が一段落して減る方向かと思ったが、令和元年から 2 年には当初の予定より増加しているが、今後の方針はどうか。
- 【細川管理者】ここ近年、起債の利率が 1 % 未満と低く設定されており借入が有利な状況で、監査委員からも起債での資金調達を勧められている。だが、将来世代の負担を増やすことにつながるため、安易に借入を増やすのではなく、現在 130 億円程度ある起債残高を、今後はバランスを見ながら少しずつ減らしていく方向で検討してまいりたい。
- 【新田委員】最近、料金値上げの話題が出るようになった。他の公共料金が値上がりする中で、水道料金はずっと値上げされていないが、いつ頃まで据え置きできるのか。
- 【細川管理者】水道ビジョンで令和 9 年度までの財政シミュレーション

をお示ししているが、令和6年度には内部留保資金がマイナスに転じると予測している。いずれ委員の皆さんにお諮りし、ご審議いただくことになる。

【稲田会長】他に質疑がなければ、議題(1) 令和2年度米子市水道事業会計予算(案)について、原案どおり承認してよろしいか。

【全委員】異議なし

【稲田会長】議題(1)は原案どおり承認された。次に議題(2)水道料金等の「モバイル決済」導入について、説明をお願いする。

【伊原課長】資料に基づき概要を説明

【稲田会長】議題(2)について、発言があればお願いする。

【長栄委員】水道料金の徴収にはご苦勞があると思うが、収納率はどの程度になっているか。

【伊原課長】最終的な収納率は、例年99.9%以上となっている。

【細川管理者】県外転居者の精算料金未収など、徴収コストが未納料金を上回るものがどうしても残ってしまうため100%とはならないが、悪質な滞納には給水停止を執行するなど徴収に努めている。

【長栄委員】すばらしい収納率を達成しておられ、職員のご努力に敬意を表したい。

【祝部委員】クレジット収納はなぜ導入されないのか。

【伊原課長】コンビニ収納に較べて、クレジット決済の徴収コストが割高となるため、導入を見合わせている。水道局としては徴収コストがもっとも安価な口座振替を推進している。

【細川管理者】クレジット収納について検討はしているが、現時点で導入予定はない。引き続き他都市の動向など情報収集に努めてまいりたい。

【稲田会長】(3)その他について発言があればお願いする。

【田中副会長】昨年(R1.5.15)のNHKクローズアップ現代で「化学物質“水汚染”リスクとどう向き合うか」において、有機フッ素化合物PFOS、PFOA※の危険性を指摘する報道があった。今のところ我が国の水質基準には含まれていないが、海外では危険性を指摘されており、国内でも東京都水道局の一部井戸原水から検出されていると聞くが、米子市ではどのような対応をされているか。

【船川課長】東京のほか沖縄での検出事例も承知しているが、米子市ではこの項目の水質検査は実施していない。今春に厚生労働省から水質検査目標値が示されるとの情報があり注目している。

- 【田中副会長】ND※で検出されないことが確認できれば安心して飲用できるので、今の体制で測定できるものなら、ぜひ検査項目に加えるよう検討してほしい。
- 【中山委員】新型コロナウイルスの感染拡大が心配されるが、水道局では対応マニュアルは整備されているか。
- 【細川管理者】新型インフルエンザ対応マニュアルによって、水源勤務職員の確保や窓口の縮小等について定めており、業務の継続や安定給水を続けることができるよう定めている。
- 【吉居委員】感染症対策に伴う危機管理は非常に重要である。水質検査についてどのような体制で取り組んでおられるのか。
- 【船川課長】国の基準に基づいて毎月検査を直営で実施しており、検査結果はホームページ等で公表している。
- 【吉居委員】有機フッ素化合物 PFOS、PFOA の危険性は各方面で指摘されており、アメリカでは既に水質基準が定められていると聞く。現在、環境省が全国的な調査を進めておられ、また、一部の県では独自検査を実施されていると聞くが、本市でも迅速に対応されるよう要望したい。
- 【船川課長】厚生労働省のなかで方針が固まっていない段階であることをご理解いただきたい。方針が決まり次第、速やかに対応できるように努めてまいりたい。
- 【八尾委員】昨年 12 月の米子市議会で、上下水道一元化についての質問があったが、どのような状況か。
- 【細川管理者】近隣では松江市が上下水道局に組織統合されており、他都市の事例があることは承知している。現在は統合した場合のメリット、デメリットの洗い出しを行い、市役所内部での検討を開始したという状況である。一元化にあたって庁舎を一か所にまとめることが必須と考えており、また、上水道は境港市や日吉津村も給水区域としていることなど、整理すべき課題が多いように感じている。
- 【稲田会長】他になれば以上で閉会とする。長時間にわたり審議いただき感謝する。

※レジリエンス 防災力の意、脆弱性の対義語

※有機フッ素化合物 PFOS（ペルフルオロオクタンスルホン酸）

〃 PFOA（ペルフルオロオクタン酸）

※ND No Data 測定の結果、検出されないことを意味する